

かまくらじょう

鎌倉城

(鎌倉市No.87遺跡)

調査期間 20070628～20070712

所在地 鎌倉市大町4丁目
1933-3 他

時代 中世



作成日:20071010

概要

鎌倉市では、神奈川県藤沢土木事務所による急傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査が行われており、工事中発見のやぐらなども含め、一年のうちに多くの遺跡の調査が行われています。

遺跡は鎌倉駅の南東約1.3kmに位置し、松葉ヶ谷の最も奥になります。

2号やぐらの玄室床面は4.14×(3.46)m以上の方形で、標高はおよそ38.88mを測ります。床面からは炭化物が大量に出土し、覆土中からは五輪塔が発見され、2基の地輪と1基の水輪が調査前より露出して存在していました。金泥による梵字が確認されたものも多く、地輪のうち東に存在したものは、内部に火葬骨が納骨されていました。他にもかわらけの集中や人骨片の散在、漆器片などが確認されています。

3号やぐらは、清掃作業により露出した部分のみ記録をして、安全面の考慮から作業を一時中断しています。五輪塔群が存在し、一部には金泥による梵字が確認されています。



▲2号やぐら全景



▲2号やぐら五輪塔出土状況